



議員
Congressman Focus

ふぉーかす



幸田町議会議員 **さこう弘康** Hiroyasu Sako

皆さん、日頃のくらしで感じている地域の困りごとはありませんか？

どんな些細な困りごとでも「声」を上げることで解決できる可能性があります。

今回は酒向町議に、地域の困りごとを「声」として議員に届ける意義について聞きました！

住民の「声」を聴くことで気づく地域の課題

私はこれまでの議員生活で住民の「声」を聴くことを大事に活動してきましたが、**住民の「声」により気づかされること**が多くあります。

例えば、最近議会で取り上げたスポーツ振興では下記のような事例があります。



【例1】CASE 1 冬季期間に幸田町のテニスコートでナイター利用を！

冬季の練習量を確保したいという、ジュニアソフトテニスに情熱を燃やすクラブチームの母親・指導者からの切実な訴え

平成28年12月議会で訴え、平成29年2月よりナイター試行が開始。



【例2】CASE 2 幸田中央公園の外周トラックを膝にやさしい舗装に！

幸田町はジョギング人口が多く、膝にやさしい外周トラックの隠れたニーズがあることが住民との会話で判明

平成28年12月議会で訴え、幸田町で実現の可否を検討中。



これらは住民の「声」をきっかけに市町に提言を行っている内容です。市町がスポーツ施設などの公共施設を運営していますが、市町が把握できていないニーズが「声」として様々な

ところから上がっていました。

私たちはこのような**住民の「声」**を踏まえて実態を調査することで、課題として取り組むことができるのです。



課題解決の近道は議会で訴えること

地域の課題の多くは直接市町の職員に訴えても解決できません。その理由は、**解決のために市町のルールを変える必要があったり、お金が必要なことが多く、議会で審議が必要だから**です。

例①・②でも議会で取り上げたことにより、市町から取り組みに前向きな回答をいただき、例①に関しては試行としてテニスコートのナイター利用の実施が実現できました。

住民の「声」が活動の原動力

議員の活動報告をいろいろな場所でさせていただく機会がありますが、その中で「ナイター利用を実施してくれてありがとう」「外周トラックの塗装を是非実現してほしい」といったことを言うくださる方もいます。そのような言葉を聞くと、自分が取り組んだ活動の方向性は間違っていなかったと感じることができ、**今後の活動の原動力**となっています。



地域の困りごとはありませんか？

議員に届けたい「声」を「くらしの相談カード」に記入し、組合事務所もしくは職場委員にお届けください!!
★くらしの相談カードは、各地区の組合事務所に置いてあります。